

はじめに

いま、時代はどのような方向に向かって、どのような速さで変わりつつあるのだろうか。私たちの日常生活の場面で何が起こりつつあるのだろうか。私たちの身近なところで時代の姿と現代社会の諸相を見ることができるはずである。現代家族の日常生活と居住空間に注目したい。

この研究は、昭和61年度に千葉県流山市初石地区において、慶応義塾大学文学部、山岸健研究室、青池慎一研究室、平野敏政研究室によって実施されたものである。調査結果の報告は平野研究室によって執筆されたものである（本報告書・第二部）。また、本研究に関連する理論的考察は山岸健教授の執筆による（本報告書・第一部）。この研究によって時代の動向と現代家族の日常生活の一端が明らかになったと思われる。また、本研究をつうじていくつかの仮説が示され、こうした分野における今後の研究のためのいくつかの視点の提示と若干の方向づけがおこなわれたものと考えられる。

本調査の実施にあたっては、第一住宅初石住宅自治会長 藤巻滋氏および前自治会長 名越輝彦氏をはじめとして自治会会員の皆様から多大の御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である。本調査が関連する調査研究に対して少しでも資するところがあれば幸いである。

昭和62年3月

研究責任者 山岸 健（慶応義塾大学教授）
研究協力者 青池慎一（慶応義塾大学教授）
研究協力者 平野敏政（慶応義塾大学助教授）